

国選定 重要文化的景観「智頭の林業景観」

# 東山・沖ノ山の巨木群

**東山・沖ノ山に広がる天然林**を歩くと、とんでもなく大きな木に出会うことができます。特に天然に生育するスギには巨木が多く、その中でも代表的なものが「智頭林業の母樹スギ」として知られているスギです。智頭林業は天然に生育するスギの木から伏条更新した枝を採取し、その枝を挿し穂として苗木を作ってきました。「智頭林業の母樹スギ」は、この木から挿し穂が採られてきたことから母樹スギと呼ばれています。幹の直径が245cm、樹高は25.5mに達する巨木で、その姿も美しく、まさに智頭の森を代表するスギといつてよいでしょう。スギの他にも天然林の中には直径が1mを超すブナやミズナラが多く生育していますし、ヒノキ、ホオノキ、クリ等の巨木も見ることが出来ます。特徴的な巨木は、榆の木の間のおヒョウです。芦津溪谷には直径174cm、樹高31.5mの巨木が生育しており、おヒョウでは日本でも最大級の個体と考えられます。



ホオノキ



ミズナラ



智頭林業の母樹スギ

直径245cm  
樹高25.5m



ヒノキ

直径155cm  
樹高25m



ホオノキ

直径157cm  
樹高35m



ミズナラ

直径188cm  
樹高25m



おヒョウ

直径174cm  
樹高31.5m



クリ

直径168cm  
樹高25m